



平成24年2月16日

## ランゲージ・パートナー制度について

岡山大学大学院社会文化科学研究科、文学部、法学部、経済学部にて在籍する日本人学生と留学生を対象に、平成23年度からランゲージ・パートナー制度を実施しています。この制度は語学の交換教授をしたい方を登録しておき、互いの言語を学びあうパートナーとして紹介し、外国語学習を支援する仕組みです。

**特色** ネイティブどうしが個人教授で直接教え合うので、生きた言葉が学べます。学生としては、試験の対策はもちろん、異文化理解の役に立ち、交流のきっかけができます。勉強のみならず、友達作りや留学準備にも役立ちます。

**言語** 平成23年度は初年度なので、まず留学生数の多い言語という観点から、日本語⇄中国語、日本語⇄韓国語の交換学習からはじめました。

**実施状況** 平成23年11月中旬から募集し、12月までに12名の学生が応募しました。マッチングの結果、5組の学生（5人の日本人学生と5人の留学生）が活動をはじめました。週2回程度交流しています。実際の活動記録を、月1回、メールで東アジア協力・教育研究センターに報告してもらっています。

**内容** 学校内での学習はもちろん、普段の生活環境の中で、ショッピングや食事などを共にしながら、生き生きとした楽しい時間を過ごし、現実的で効果的な語学学習を行っています。年2回、他のペアの方々と一緒に交流する昼食会があります。

**今後の予定** 活動終了後には、活動の感想や意見を綴ったレポートを提出してもらい、後輩への説明や今後の参考に役立てていきます。

**期待すること** 教科書で学んだ言葉を実際に使うことで、語学力の定着と学習の動機付けの効果を期待しています。言葉ができて友達ができれば、留学したい気持ちが高まるのではないかという意味では、日本人学生の留学意欲の後押しを期待しています。渡日直後の留学生には、日本人の友人に出会う機会の一つとなり、孤独感の緩和効果が期待されます。留学から帰国した日本人学生には、語学力を維持する仕組みとして機能します。

\* 学生に取材協力を依頼することもできます。

\* 添付資料：学内掲示用募集ポスター

<お問い合わせ>

岡山大大学院社会文化科学研究科

(氏名) 田中共子

(電話・ファクス) : 086-251-7405

(e-mail) : [tomo@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:tomo@cc.okayama-u.ac.jp)